

令和5年度小・中学校連合作品展覧会について

1 開催概要

	校種	日程	会場	来場人数
1	小学校	令和6年1月16日(火) ～1月21日(日)	東京芸術劇場 ギャラリー1	5,781名 (昨年度4,429名)
2	中学校	令和6年1月26日(金) ～1月28日(日)	豊島区役所 センタースクエア	1,259名 (昨年度848名)

2 当日の様子

小・中学校ともに通常の学級と特別支援学級の子どもたちの代表作品を集め展示した。昨年度からの改善点として、作品に込めた思いを伝えるために題名、頑張ったこと、工夫したことを付けた。「この作品は夜空を考えながら作りました。」「色づかいと組み立てを工夫しました。目立つようにバランスを考えたのでそこを見て欲しいです。」というように子どもの思いが表現されていた。



3 成果と課題

(1) 成果

- ・小中ともに、来場者が増えた。
- ・作品にコメントを付けたことで、子どもの作品への思いや工夫した点も含めて伝えることができた。

(2) 課題

- ・小学校の書写展示が高い場所だったので見えづらかった。
- ・小学校と中学校で展示方法を統一するために、展示の仕方について早い段階で小・中学校の教科部と打合せを行う。

【来場者より】

- ・豊島区全体の小学校の作品を一度に見ることができてよかった。
- ・発想、色づかい、アイデアがすばらしかった。
- ・子ども達のコメントがあったので、思いが伝わってきた。

【来場者より】

- ・壁面が高く、見えづらい作品があった。もう少し展示を低くすると見やすい。
- ・電気を点けないとデザインが分からない作品があった。作品の見方についても説明があるとよい。